



NEWS RELEASE

2016年9月16日

(一社)日本ケーブルテレビ連盟
ヒストリーチャンネル・ジャパン合同会社

ケーブルテレビ×ヒストリーチャンネル™ 4K 共同製作番組企画 第2弾「水が育む歴史ある文化」シリーズ 採用12作品発表！ 次期シリーズ制作も決定！

一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟（東京都中央区、理事長：吉崎正弘）と歴史&エンターテインメント専門放送ヒストリーチャンネル™ 日本・世界の歴史を運営するヒストリーチャンネル・ジャパン合同会社（東京都港区、代表執行役員社長：アラン・ホッジス）は、地域に根差すケーブルテレビが、地元で歴史的背景のある遺産を4K映像で記録し全国に発信していく企画の第2弾として、昨年の「麗しき日本の神社仏閣」に続き、「水が育む歴史ある文化」を共同で展開します。

第2弾となる今回は、第5回を迎えるヒストリーチャンネル主催の番組アワード「ヒストリーアワード～地方の歴史から日本を紐解く～」(※)とコラボレーションし、その新部門「日本ケーブルテレビ連盟共同シリーズ部門」として展開します。

本企画は、ヒストリーチャンネルがパイロット版番組『水が育む歴史ある文化「屋形船からみる江戸の歴史～東京・隅田川～」』を製作すると同時に、全国のケーブルテレビ事業者から企画案の応募をいただき、次頁の12作品を選出したものです。選出されたケーブルテレビは4Kで撮影します。ヒストリーチャンネルはケーブルテレビ12局が撮影した映像を使用し、総集編番組も製作いたします。

なお、制作される全14番組は、ケーブルテレビ業界共通の4K専門チャンネル「ケーブル4K」では4K画質で、またヒストリーチャンネルにてHDで全国放送する予定です。

また、本企画には、株式会社東北新社が制作協力。多くの4Kでの撮影・プロダクションワークの実績を持つ東北新社ならではの技術力を活かし、パイロット版と特別総集編への制作協力や、選出されたケーブルテレビ事業者への4K撮影セミナーを実施。これにより4Kの魅力を一層発揮した番組に仕上がると展開していきます。

今回、水の恵みにより育まれてきた地域の歴史ある文化を、精彩かつ鮮やかな4K映像で記録することにより、全国に地域の魅力をより強く広く発信していきます。

また、本企画は、好評につきはやくも2017年第3弾の実施も決定しました。第3弾のテーマは、今、伝統工芸とデザインが融合する新たな取り組みを紹介する「ニッポンの新・伝統工芸」となります。こちらにも是非ご期待ください。

※「歴史アワード～地方の歴史から日本を紐解く～」とは

地方史にこそ日本史のエッセンスが詰まっていると考え、歴史に造詣の深い松平定知審査委員長のもと、全国のケーブルテレビ局制作による、ご当地歴史番組・番組案を募集し、地元の歴史への思いが伝わる番組・番組案を表彰し歴史チャンネルにて全国放送する企画。5 回目の本年は、各ケーブルテレビ局が制作した地元の歴史番組を募集する【番組部門】と、ケーブルテレビ局と共同で制作する番組シリーズの企画案を募集する【日本ケーブルテレビ連盟共同シリーズ部門】の2つの部門を設定し地方の歴史への思いが伝わる番組を表彰する。

■ケーブルテレビ局制作 採用作品 (4K 撮影・25 分) (タイトルは変更の可能性があります。)

- ① 「日本初の温水路・上郷温水路群～秋田・鳥海山～」(秋田・秋田ケーブルテレビ)
- ② 「138kmの愛される河川へ、ふたたび ～東京・多摩川～」(東京・イツ・コミュニケーションズ)
- ③ 「湯つづきの里 ー温泉が育む長寿の里ー ～長野・信州高山温泉郷」(長野・須高ケーブルテレビ)
- ④ 「健康・長寿を願い、人が集うまちへ～岐阜・養老の滝、菊水泉～」(愛知・中部ケーブルネットワーク)
- ⑤ 「古の旅人が愛した温泉～和歌山・湯の峰温泉～」(三重・ZTV)
- ⑥ 「脅威に立ち向かう守り人たち～富山・立山カルデラ～」(富山・ケーブルテレビ富山)
- ⑦ 「大山さんの水物語～鳥取・大山～」(鳥取・中海テレビ放送)
- ⑧ 「川の名になった男 ー足立重信ー ～愛媛・重信川～」(愛媛・愛媛 CATV)
- ⑨ 「四国三郎が生み出したジャパンプルー～徳島・吉野川～」(徳島・ケーブルテレビ徳島)
- ⑩ 「最古の一斗俵沈下橋が見つめた日本最後の清流～高知・四万十川～」(高知・四万十ケーブルテレビ)
- ⑪ 「歌人、若山牧水の源流を辿る～宮崎・坪谷川～」(宮崎・ケーブルメディアワイワイ)
- ⑫ 「綾ユネスコ エコパークの森から～宮崎・綾湧水群～」(宮崎・宮崎ケーブルテレビ)

■歴史チャンネル／東北新社制作 パイロット版 (4K 番組、HD 番組・25 分)

・水が育む歴史ある文化 「屋形船からみる江戸の歴史～東京・隅田川～」

江戸時代より日本人の粋な遊びとして楽しまれてきた隅田川の屋形船。その魅力といえば美しい景観。幾つもの橋を潜り抜ける感覚や海の上から眺めるレインボーブリッジはいつもとは違う贅沢なひと時を味わえます。メインは隅田川花火大会。打ちあがった花火の大輪が水面に映り、空の花火と水の花火に包み込まれます。昔から江戸の生活用水や憩いの場、経済を動かす運河として人々と深く関わってきた隅田川。水上を走る屋形船から今の東京と江戸の暮らしを見つめます。



■歴史チャンネル／東北新社制作 総集編番組 (4K 番組、HD 番組・90 分枠)

■スケジュール

- | | |
|--------------|--|
| 2016 年 12 月 | ケーブル 4K にて、パイロット版番組 (4K 番組) 放送 |
| 2017 年 2 月以降 | 歴史チャンネルにて、パイロット版 (HD 番組) とケーブル局制作の全シリーズ (HD 番組) 全 13 番組、総集編番組 (HD 番組) 放送予定 |
| 2017 年 3 月以降 | ケーブル 4K にて、ケーブル局制作の全シリーズ (4K 番組) と総集編番組 (4K 番組) 放送予定 |

～本件に関するお問合せは下記までお願いいたします～

■一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟

担当：小林 多田 TEL：03 - 3566 - 8200

■歴史チャンネル・ジャパン合同会社

担当：川瀬 (kawase-y@tfc.co.jp)、久竹 (hisatake@tfc.co.jp) TEL：03 - 5414 - 0305

■ケーブルテレビ局制作 採用作品 詳細（タイトル、内容は変更の可能性があります。）

①「日本初の温水路・上郷温水路群～秋田・鳥海山～」(秋田・秋田ケーブルテレビ)

秋田県と山形県に跨る名峰・鳥海山は、出羽富士とも呼ばれ親しまれています。山麓一帯で伏流水となって湧き出し、人々に命の水として様々な恵みをもたらしてきた一方で、夏でも摂氏10度前後の冷水は米の生育に悪影響を及ぼしました。この状況を一変させたのが、昭和2年から35年にかけて作られた日本初の温水路「上郷温水路群」です。鳥海山の伏流水が生み出す雄大な自然の風景や、温水路群の完成に一体となって取り組んだ地域の人々を紹介します。



②「138kmの愛される河川へ、ふたたび ～東京・多摩川～」(東京・イツ・コミュニケーションズ)

山梨県・東京都・神奈川県を流れ東京湾に注ぐ、延長138kmの一級河川「多摩川」。川辺では野草や野鳥が数多く見られる自然豊かな河川で、休日には多くの家族連れで賑わいます。水道用の取水も行われており、人々の生活にとって重要な役割を担っていますが、高度経済成長期には水質が悪化し、人々から倦厭されていた時代もありました。水質悪化の実態と対策、そして流域住民と多摩川とのかかわりについて紹介します。



③「湯つづきの里 ー温泉が育む長寿の里ー ～長野・信州高山温泉郷」(長野・須高ケーブルテレビ)

長野県の北東部に位置する信州高山村はアンチエイジングの里として知られています。健康長寿の源は、村内の8つの異なる泉質を持つ温泉です。高山村は古来より「湯つづきの里」として、森鷗外や菊池寛など多くの文人墨客に愛されてきた湯治場です。現在も村人たちは、早起きして農作業に出向き、ひと仕事終わると、村の温泉施設で疲れを癒します。村人と温泉(水)との関わりを通して、長寿の里の秘密を探ります。



④「健康・長寿を願い、人が集うまちへ～岐阜・養老の滝、菊水泉～」(愛知・中部ケーブルネットワーク)

「養老の滝」、「菊水泉」のある岐阜県養老町。西暦717年、奈良時代の女帝・元正天皇はこの地に行幸され、美泉をご覧になった後に元号を現在の町名でもある「養老」に改元されました。2017年、養老に改元されてから1300年の節目の年を迎える養老町で、奈良時代に「国おこし」として利用された養老の水が、現代で「町おこし」として形を変えて利用される様子を紹介します。



⑤「古の旅人が愛した温泉～和歌山・湯の峰温泉～」(三重・ZTV)

開湯1800年。熊野詣の湯垢離場(ゆごりば)として栄えてきた湯の峰温泉。古より旅人は、温泉で身を清め、旅の疲れを癒してきました。温泉街は、今も昔ながらの情緒を残し、公衆浴場や湯筒、世界遺産に登録された入浴可能な温泉「つぼ湯」等があり、老舗旅館では温泉料理を味わう事が出来ます。聖地熊野を訪れる旅人を癒す温泉と、癒しを提供する人々を紹介します。



写真提供: 熊野本宮観光協会

⑥ 「脅威に立ち向かう守り人たち～富山・立山カルデラ～」(富山・ケーブルテレビ富山)

美しい風景が広がる立山黒部アルペンルート(弥陀ヶ原台地)の南側、荒々しい崩壊地が目立つ立山カルデラ(くぼ地)。安政5年、立山カルデラは幾度の地震で度々崩壊し、その内部に溜まった土砂は、大雨で下流域に流れ出し富山平野に大災害をもたらしました。水流に沿って定置的に堰堤を造り、土砂の流出量を調整して災害を防ぐ立山砂防工事は大正時代から続き、今も工事完了日は設定されていません。人々の暮らしを守るため、命懸けで立山カルデラの脅威と立ち向かう人々、立山に信仰を寄せる地元住民の思いに迫ります。



⑦ 「大山さんの水物語～鳥取・大山～」(鳥取・中海テレビ放送)

中国地方の霊峰・大山。西日本最大といわれるブナの原生林によって豊かな水を生むこの山は、万物に恵みを与える存在として、古より山岳信仰の対象として崇められてきました。その大山の中腹に位置する大神山神社には千年の時を超えて続く神秘的な儀式があります。年に1度、真夜中から行われる「もひとり神事」は、まさに大山の霊水への信仰を今に受け継ぐもの。神事を受け継ぐ人々の想いを軸に、今も変わらぬ美しい水と、その恵みに支えられ連綿と続く人々の暮らしを紹介します。



⑧ 「川の名になった男 一足立重信一 ～愛媛・重信川～」(愛媛・愛媛CATV)

その昔、松山市を流れる伊予川は、大雨のたびに氾濫を繰り返し、暴れ川として恐れられていました。江戸時代初めにこの川の灌漑工事を行ったのが、松山城初代藩主・加藤嘉明の家臣、足立重信。重信はこの川の堤防を強化し、巧みに氾濫を食い止め、荒れ果てていた大地はいつしか豊かな米づくりの土地となりました。人々は重信の業績を称え、伊予川は「重信川」と呼ばれるようになりました。番組では、この歴史について再現映像などを交えて放送します。



⑨ 「四国三郎が生み出したジャパンプルー～徳島・吉野川～」(徳島・ケーブルテレビ徳島)

徳島県が全国に誇る吉野川。その雄大な流れは周辺の環境や人に多大な恩恵をもたらすとともに、利根川の坂東太郎、筑後川の筑紫次郎、そして吉野川の四国三郎と称される日本三大暴れ川のひとつとして徳島の地に水害ももたらしてきました。その中で育まれてきたのが藍の歴史です。四国・徳島県が誇る大河、吉野川とジャパンプルーとして近年注目されている藍について取り上げます。



⑩ 「最古の一斗俵沈下橋が見つめた日本最後の清流～高知・四万十川～」(高知・四万十ケーブルテレビ)

全長196km。四国最長の大河、四万十川。「最後の清流」として知られ、その川は、南西に大きく蛇行しながら多くの支流から膨大な量の水を集め太平洋に注いでいます。人々は昔から四万十川の豊かな水で営み生きる糧を得てきました。四万十川流域の人々の暮らしを支え、歴史を見つめてきた最古の沈下橋「一斗俵沈下橋」に迫ります。



⑪ 「歌人、若山牧水の源流を辿る～宮崎・坪谷川～」(宮崎・ケーブルメディアワイワイ)

青々と広がる九州山地を源流とする耳川。その耳川の支流、坪谷川のほとりで歌人若山牧水は生まれました。旅と酒、そして自然を愛した牧水は43年という短い生涯の中で9000首近くの歌を残します。その生き様、その歌は今も多くの人に愛されています。牧水の「牧」は大好きな母の名 マキ。そして「水」はふるさとの地を潤す水のことです。番組では、短歌を紐解きながら、牧水の源流を辿ります。



⑫ 「綾ユネスコ エコパークの森から～宮崎・綾湧水群～」(宮崎・宮崎ケーブルテレビ)

2012年「綾ユネスコ エコパーク」に登録された宮崎県綾町には日本最大級の照葉樹原生林が残され、滾々と湧き出す清らかな水が人々の暮らしを潤しています。春、田植えに始まる里山では蛍が川面を照らし、鮎釣りの太公望たちで賑わいます。また座敷に奥山を模した「雛山」を作る風習などの文化も育てました。こうした四季折々、多彩な表情を紡ぎながら、今や失われつつある日本の原風景ともいえる里山の歴史・文化を紹介します。

